

電氣事業法施行規則の一部を改正する省令 新旧対照条文
 ○電氣事業法施行規則（平成七年通商産業省令第七十七号）

（傍線部分は改正部分）

改 正 案	現 行
<p>（主任技術者の選任等） 第五十二条（略）</p> <p>2 次の各号のいずれかに掲げる自家用電氣工作物に係る当該各号に定める事業場のうち、当該自家用電氣工作物の工事、維持及び運用に関する保安の監督に係る業務（以下「保安管理業務」という。）を委託する契約（以下「委託契約」という。）が次条に規定する要件に該当する者と締結されているものであって、保安上支障がないものとして経済産業大臣（事業場が一の産業保安監督部の管轄区域内のみにある場合は、その所在地を管轄する産業保安監督部長。次項並びに第五十三条第一項、第二項及び第五項において同じ。）の承認を受けたもの並びに発電所、変電所及び送電線路以外の自家用電氣工作物であつて鉦山保安法が適用されるもののみに係る前項の表第三号又は第六号の事業場については、同項の規定にかかわらず、電氣主任技術者を選任しないことができる。</p> <p>一～四（略）</p> <p>3 出力二千キロワット未満の水力発電所（自家用電氣工作物であるものに限る。）に係る第一項の表第一号又は第六号に掲げる事業場のうち、当該水力発電所の保安管理業務の委託契約が次条に規定する要件に該当する者と締結されているものであって、保安上支障がないものとして経済産業大臣の承認を受けたものについては、同項の規定にかかわらず、ダム水路主任技術者を選任しないことができる。</p>	<p>（主任技術者の選任等） 第五十二条（略）</p> <p>2 次の各号のいずれかに掲げる自家用電氣工作物に係る当該各号に定める事業場のうち、当該自家用電氣工作物の工事、維持及び運用に関する保安の監督に係る業務（以下「保安管理業務」という。）を委託する契約（以下「委託契約」という。）が次条に規定する要件に該当する者と締結されているものであって、保安上支障がないものとして経済産業大臣（事業場が一の産業保安監督部の管轄区域内のみにある場合は、その所在地を管轄する産業保安監督部長。第五十三条第一項、第二項及び第五項において同じ。）の承認を受けたもの並びに発電所、変電所及び送電線路以外の自家用電氣工作物であつて鉦山保安法が適用されるもののみに係る前項の表第三号又は第六号の事業場については、同項の規定にかかわらず、電氣主任技術者を選任しないことができる。</p> <p>一～四（略）</p> <p>（新設）</p>

4| (略)

第五十二条の二 前条第二項又は第三項の要件は、次の各号に掲げる事業者の区分に応じ、当該各号に定める要件とする。

一 個人事業者（事業を行う個人をいう。）

イ 前条第二項の場合にあつては電気主任技術者免状の交付を、同条第三項の場合にあつてはダム水路主任技術者免状の交付を、それぞれ受けていること。

ロ〜ヘ (略)

二 法人

イ 前条第二項又は第三項の承認の申請に係る事業場（以下「申請事業場」という。）の保安管理業務に従事する者（以下「保安業務従事者」という。）が前号イ及びロの要件に該当していること。

ロ〜ヘ (略)

第五十三条 第五十二条第二項又は第三項の承認を受けようとする者は、様式第四十三の保安管理業務外部委託承認申請書に次の書類を添え、経済産業大臣に提出しなければならない。

一〜三 (略)

2 経済産業大臣は、第五十二条第二項又は第三項の承認の申請が次の各号のいずれにも適合していると認めるときでなければ、同項の承認をしてはならない。

一〜六 (略)

3 次の各号に掲げる者は、その職務を誠実に行わなければならない。また、第二号又は第四号に掲げる者は、その保安業務従事者

一 第五十二条第二項の承認に係る委託契約の相手方のうち前

3| (略)

第五十二条の二 前条第二項の要件は、次の各号に掲げる事業者の区分に応じ、当該各号に定める要件とする。

一 個人事業者（事業を行う個人をいう。）

イ 電気主任技術者免状の交付を受けていること。

ロ〜ヘ (略)

二 法人

イ 前条第二項の承認の申請に係る事業場（以下「申請事業場」という。）の保安管理業務に従事する者（以下「保安業務従事者」という。）が前号イ及びロの要件に該当していること。

ロ〜ヘ (略)

第五十三条 第五十二条第二項の承認を受けようとする者は、様式第四十三の保安管理業務外部委託承認申請書に次の書類を添え、経済産業大臣に提出しなければならない。

一〜三 (略)

2 経済産業大臣は、第五十二条第二項の承認の申請が次の各号のいずれにも適合していると認めるときでなければ、同項の承認をしてはならない。

一〜六 (略)

3 第五十二条第二項の承認に係る委託契約の相手方のうち前条第一号の要件に該当する者（以下「電気管理技術者」という。）及び前条第二号の要件に該当する者（以下「電気保安法人」という。）並びに保安業務従事者は、その職務を誠実に行わな

条第一号の要件に該当する者（以下「電気管理技術者」という。）

二 第五十二条第二項の承認に係る委託契約の相手方のうち前条第二号の要件に該当する者（以下「電気保安法人」という。）

三 第五十二条第三項の承認に係る委託契約の相手方のうち前条第一号の要件に該当する者（以下「ダム水路管理技術者」という。）

四 第五十二条第三項の承認に係る委託契約の相手方のうち前条第二号の要件に該当する者（以下「ダム水路保安法人」という。）

五 保安業務従事者

4 第五十二条第二項又は第三項の承認を受けた者は、その承認に係る事業場の電気工作物の工事、維持及び運用の保安を確保するに当たり、その承認に係る委託契約の相手方の意見を尊重しなければならない。

5 経済産業大臣は、第五十二条第二項又は第三項の承認を受けた者が次の各号のいずれかに該当するときは、その承認を取り消すことができる。

一・二 (略)

三 ダム水路管理技術者又はダム水路保安法人が、第五十二条第三項の承認に係る委託契約によらないで保安管理業務を行つたとき。

四 電気管理技術者及び電気保安法人、ダム水路管理技術者及びダム水路保安法人並びに保安業務従事者が第三項の規定に違反したとき。

五 不正の手段により第五十二条第二項又は第三項の承認を受けたとき。

なければならない。また、電気保安法人は、その保安業務従事者
にその職務を誠実に行わせなければならない。

4 第五十二条第二項の承認を受けた者は、その承認に係る事業場の電気工作物の工事、維持及び運用の保安を確保するに当たり、その承認に係る委託契約の相手方の意見を尊重しなければならない。

5 経済産業大臣は、第五十二条第二項の承認を受けた者が次の各号のいずれかに該当するときは、その承認を取り消すことができる。

一・二 (略)

(新設)

三 電気管理技術者、電気保安法人又は保安業務従事者が第三項の規定に違反したとき。

四 不正の手段により第五十二条第二項の承認を受けたとき。

第五十三条の二 第五十二條第四項ただし書の承認を受けようとする者は、様式第四十四の主任技術者兼任承認申請書に次の書類を添え、経済産業大臣に提出しなければならない。

様式第43 (第53条関係)

保安管理業務外部委託承認申請書

殿

年 月 日

住所

氏名(名称及び代表者の氏名)

印

電気事業法施行規則第52条第2項又は第3項の規定により承認を受けたいので申請します。

様式第44 (第53条の2関係)

主任技術者兼任承認申請書

殿

年 月 日

住所

氏名(名称及び代表者の氏名)

印

電気事業法施行規則第52条第4項ただし書の規定により次のとおり主任技術者の兼任の承認を受けたいので申請します。

第五十三条の二 第五十二條第三項ただし書の承認を受けようとする者は、様式第四十四の主任技術者兼任承認申請書に次の書類を添え、経済産業大臣に提出しなければならない。

様式第43 (第53条関係)

保安管理業務外部委託承認申請書

殿

年 月 日

住所

氏名(名称及び代表者の氏名)

印

電気事業法施行規則第52条第2項の規定により承認を受けたいので申請します。

様式第44 (第53条関係)

主任技術者兼任承認申請書

殿

年 月 日

住所

氏名(名称及び代表者の氏名)

印

電気事業法施行規則第52条第3項ただし書の規定により次のとおり主任技術者の兼任の承認を受けたいので申請します。